

令和2年度「市長と語り合う会」について（豊川地区）

1 出席者状況

開催日（曜日）	会場	時間	出席人数		
			男	女	計
令和2年 11月16日（月）	豊川公民館	19:00～20:00	21	2	23

- 市側出席者
市長、副市長、政策企画局長、総務部長、秘書課長

2 会の概要

- 開 会（秘書課長）
 - ・ 会の趣旨説明
 - ・ 出席者紹介
- あいさつと市政運営の説明（山本市長）

1. 令和2年度の当面の課題・状況

施政方針で以下の5つにまとめている。年初のことで、新型コロナウイルスについては最後の1行で触れただけだったが、未だ終息に至っていない。ワクチンも一般への接種の見通しはまだまだという状況である。11月2日に「益田市ニューノーマル宣言」を発表し、感染防止に十分配慮しつつ、イベント・会合の再開、市内での飲食の推奨、市外誘客の促進、県外への移動制限の解除を宣言したところである。再度感染拡大などが起こった場合には速やかに見直すこととしている。引き続きご理解・ご協力をお願いしたい。

・萩・石見空港

発着枠政策コンテスト審査の年だったが、令和5年3月までの継続運航が決定した。ただ現状は新型コロナの影響でほぼ1日1往復となっているほか、ANAの経営状況も大きく落ち込んでいる。このため空港利用促進協議会では空港の利活用促進等の人材として、ANAからの派遣受け入れを決めた。今後とも格段のご理解・ご協力をお願いしたい。

・山陰道

「益田～萩」のうち須子から小浜までの「益田西道路」新規事業化が、昨年度～今年度の山場であった。幸い事業化トが決定し、臨空ファクトリーパークへのアクセスを容易にするルートとなったことから、ファクトリーパークの有効活用に繋がるのが期待される。さらに次の「小浜～田万川」の事業化が早急に進むよう、国土交通省、財務省に要望に向かう予定である。

・日本遺産とガーデンツーリズム

市内の中世関連の史跡が、「中世日本の傑作益田を味わう～地方の時代に輝き再び」というストーリーが認められ2年越しの申請で日本遺産に認定された。また国交省が認定するガーデンツーリズムに、中国地方にある雪舟関連の庭園等を巡る計画が「雪舟回廊」として登録された。コロナ後にはこれらをもって観光産業を振興していきたい。特に日本遺産は地元の皆様の協力が欠かせない。よろしくをお願いしたい。

・東京オリンピック・パラリンピック

残念ながら開催延期となり、事前キャンプも1年延期された。あらためて仕切り直し、開催されれば万全の体制でキャンプを支えていく。その後はアイルランドとの交流が進むようにしていきたい。先月駐日アイルランド大使公邸を訪問し、大使他の方々とは親睦を深めてきた。

・新型コロナウイルス

（冒頭において触れたとおり。）

2. 連携の具体化と結実

大きく3点を掲げている。

・SDGsに関する連携

2030年までに世界共通で達成することを目指した17の国際的目標で、2015年に国連で採択された。これに関連して市では、新しい技術を使ったスマートシティ構想：まちの様々な機能を自動化して市民の利便性を高める取組みを行ったり、テラヘルツテクノロジーによるウィルス対策や水質改善、樹木・作物の強化などに係る実証実験を行っている。この技術を通して市の発展とSDGsへの貢献を目指している。

・島根県との連携

丸山知事は、東西の格差是正が大事であると述べている。また観光テーマとして新たに「美肌県しまね」を前面に出している。美都・匹見の温泉やわさび・ゆずなど美肌効果のある食物を上手く生かし、県と連携を密にして観光誘客を図っていく。

・民との連携

地域住民の皆様や地域自治組織、民間企業や様々な団体などと連携して、行政単独では対処できない諸課題に取り組んでいく。

○ 意見交換

質問項目は以下のとおり。詳細は別紙のとおり。

- ① 空き家（老朽危険家屋）対策について
- ② 遊休農地の草刈りについて
- ③ 岩柄のしだれ桜について
- ④ 空港利用について
- ⑤ 市道の維持改修について
- ⑥ 益田氏の遺跡について
- ⑦ 観光地のマーケティングについて
- ⑧ 広域消防の新庁舎について
- ⑨ 景観について
- ⑩ 駅前の賑わい創出について

○ 閉 会 （秘書課長）

令和2年度「市長と語り合う会」

〔会場 豊川公民館 開催日時：令和2年11月16日（月）19:00～20:00〕

要 望 事 項 等	回 答
<p>① 空き家（老朽危険家屋）対策について 久々茂地区の道路に面した家で庇が落ちたりして、市で応急処置はしてもらったが危険である。持ち主が遠方の住まいで疎遠な場合も多いが、行政代執行を年間計画で予算措置することはできないか。</p>	<p>① 基本的には所有者・管理者に適切な管理を行っていただくが、現実に行き届かないことも多い。空き家対策基本条例に基づいて「特定空き家」に指定し、警告～勧告～命令、最終的には行政代執行も考えるが、費用を持ち主から回収できない可能性もあり、空き家放置の悪循環になっていけないので、最後の手段である。</p>
<p>② 遊休農地の草刈りについて 景観上、またイノシシ被害を心配して地区で草刈りなどするが、刈った草の処理に難儀している。</p>	<p>② 宿題として持ち帰らせていただく。</p>
<p>③ 岩柄のしだれ桜について 県外から見に来る人もいるが、管理している人が高齢化しており、維持が大変になっているが、市として考えはないか。</p>	<p>③ 何とかしなくてはいけないと思う。状況を精査する。</p>
<p>④ 空港利用について 現状の課題と、具体的な方策があれば聞きたい。</p>	<p>④ ANAの現状に対しては、協議会としてできることは限られるが、今後の関係強化も考えて行いたい。利用促進の目的としては、地域の活性化にはならないということであり、実際首都圏の企業や自治体との交流、医師確保の面でも機能している。観光促進、産業振興においてもしかりで、空港を活用して人のつながりを作っていく。</p>
<p>⑤ 市道の維持改修について 旧市道馬谷線が何度も崩れる。市にも改修してもらおうが、予算がないと言って追いついていない。</p>	<p>⑤ 要望をいただいているが、全市的にも要望が多く、なかなか手が付けられずご不便をおかけしている。早急にできるよう検討する。</p>
<p>⑥ 益田氏の遺跡について 中世益田遺産が日本遺産に指定されたが、益田兼高が最初に益田で館を建てたのは久々茂である。遺跡もあり地区で維持を行っている。益田のルーツであり、見直してほしい。</p>	<p>⑥ 市内の色々な遺物が繋がって日本遺産となっており、久々茂の遺跡もその構成要素に入っていると思われる。ただ施設整備や観光コース設定などで、三宅御土居など旧益田地区が中心となることはご理解願いたい。そこから幅を広げて久々茂にも足を運んでもらうことを考えていきたいので、地元でも機運を高めていただきたい。</p>
<p>⑦ 観光地のマーケティングについて 地味な観光スポットが多いが、どういう層・年代をターゲットに考えているのか。</p>	<p>⑦ これから開拓していく部分が多いので、年齢層を絞るということはない。中世は日本史でも地味な部分なので、まずはコアな歴史ファンへの訴えるが、歴代当主のイケメン風イラストを明誠高生徒に描いてもらうなど、若い層も取り込み幅広くアピールできるよう考えている。</p>

<p>⑧ 広域消防の新庁舎について 県工跡地に計画されているが、土地が大きいので、江津～萩をエリアとする防災拠点として、防災ヘリの発着場も含めて整備すれば有効活用になるのではないか。</p> <p>⑨ 景観について ひれふり山からの眺望が、立木が邪魔で期待したほどでなかった。大道山や空港へのアクセス路から見る高島近辺の景色も同様。旅行者に対しても印象で損をしている。</p> <p>⑩ 駅前の賑わい創出について E A G Aに空きスペースが目立つ。あけぼの（駅北側）と連携して駅前の人の出入りを創出することはできないか。</p>	<p>⑧ せっかくの機会なので様々な機能を盛り込みたいと考える。例えば住民が消防・防災に触れる機会を提供できるようにするなど。ただ、おっしゃるような規模のものは益田市や広域には荷が重い。県レベルの判断になるが県西部の拠点は既に浜田市にある。国の構想にもないということである。</p> <p>⑨ 市が整備すべき範囲はきちんと管理していきたい。例に上がった大道山は元日の遥拝登山を地元自治会などのお世話で開催いただいているが、こうした地元の協力等も含めて観光地のあり方を考えていきたい。</p> <p>⑩ 永年かかって駅前再開発、グラントワ通りの整備などは完了している。古くから南北連絡橋構想があるが、JRとの協議を要し、計画としても多額の予算が必要となる。従前の枠内となるが駅前の商業施設・グラントワと協働で振興を図りたい。</p>
--	---